

9 局 区 別 予 算

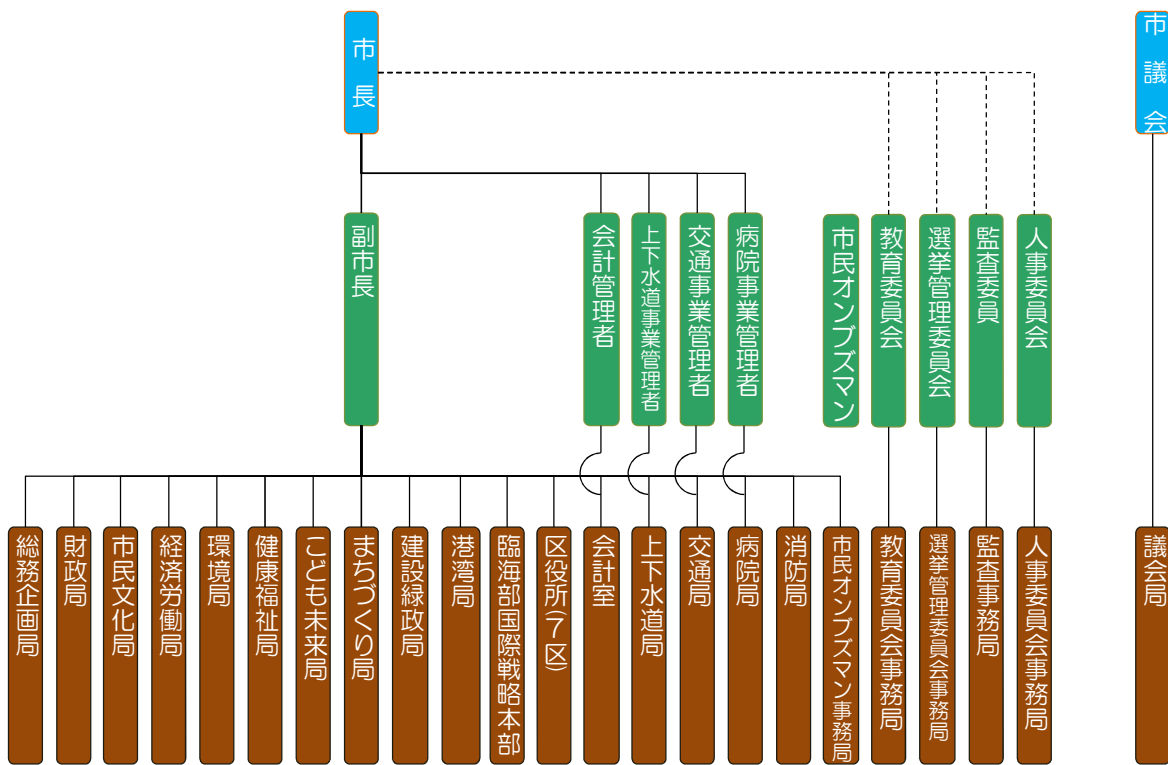
市長は、その権限に属する仕事を分担するため、条例で局という内部組織を設けています。

また、市民の皆様と密接に関連する業務については、市内の区域を分けて区役所を設けています。

ここでは、主要な事務事業を所管する局区別に、主な事業をご紹介します。



組 織 図



※28年度の組織改正により、総務局と総合企画局の一部を再編統合し「総務企画局」、市民・こども局を再編し「市民文化局」、市民・こども局こども本部を再編し「こども未来局」を設置するとともに、「臨海部国際戦略本部」を設置します。

総務企画局

<予算額> 問い合わせ先:総務局庶務課 200-2045 内) 21301

39,658,616千円 (対前年度比:△2.2%)

<主な事業>

災害・危機事象に備える対策の推進

防災施設整備の推進

716,892千円

○防災行政無線設備の老朽化対策及び機能向上を図るため、災害情報等を一斉に音声で伝達する同報系無線の戸別受信機の更新や屋外受信機の増設を行うとともに、災害時に市役所と区役所や他自治体等との間の双方向の通信手段となる多重系・衛星系無線の再整備工事に着手します。



臨海部・津波防災対策の推進

10,950千円

○津波による人命被害を防止するため、津波ハザードマップの更新や津波避難施設標識の設置等の取組を進めます。

本庁舎等建替えの取組

365,407千円

○プロポーザル方式等により設計者を選定して新本庁舎の設計に着手し、併せて、環境影響評価手続を進めます。設計及び環境影響評価手続の完了は、30年度を予定しています。(拡充)
○現本庁舎は、大規模地震発生の際には倒壊の危険性があるため、28年度から建物の解体工事(地上部分のみ。地下部分は、新築工事を行う際に基礎工事と併せて解体)に着手し、29年度前半に完了する予定です。(拡充)

ICT(情報通信技術)の活用による市民利便性の向上

かわさきアプリの運用及び公衆無線LAN環境整備の推進

32,577千円

○必要な人に必要な情報を的確かつタイムリーに提供するため、スマートフォンアプリケーションを活用した新たな情報発信ツールとして、「かわさきアプリ」(防災・子育て分野)の運用を開始するとともに、民間事業者と連携した運用モデルの構築や分野拡張に向け取組を進めます。(拡充)

○行政施設等への公衆無線LAN環境(Wi-Fi)の整備や民間事業者と連携し、事業者が整備したアクセスポイントを活用して「かわさきWi-Fi」の利用範囲の拡大を図ります。(拡充)



ネットワーク強化及びマイナンバー利用に向けた基盤整備

1,203,900千円

○高度標的型攻撃等の様々なリスクが発生している中で、市民に対し安全・安定的なサービスを提供するために、仮想技術など最新のICTを活用し、ネットワーク環境のセキュリティ強化を図ります。

○行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平かつ公正な社会の実現を目的とするマイナンバー制度の利活用に向けて、国や自治体間の情報連携に必要な機器等を整備するとともに、庁内の各情報システムの連携を担うシステム連携基盤の改修を行います。

都市イメージの向上とシビックプライドの醸成

川崎の魅力を活かしたシティプロモーションの推進

49,264千円

- 民間事業者との連携等により地域資源の掘り起こしや魅力づくりに取り組むとともに、様々なメディアを活用して川崎の魅力を市内外へ戦略的に情報発信し、都市イメージの向上を図ります。(拡充)
- 「川崎市シティプロモーション戦略プラン」(27年3月策定)に基づき、ブランドメッセージを活用すること等により、都市ブランドの強化とともにシビックプライド(市民の川崎への愛着や誇り)の醸成を目指します。(拡充)

国際交流の推進

38,795千円

- 姉妹・友好都市である海外8都市との文化芸術・経済・環境・教育など幅広い分野での交流をはじめ、相互の発展につながる関係の構築に向けて、海外諸都市等との交流を推進します。
- 大韓民国・富川市と友好都市締結20周年記念事業として、両市の市長による相互訪問や青少年のスポーツ交流を行います。



姉妹・友好都市副市長による市長表敬

迅速で的確な広報・広聴と市民に開かれた情報共有の推進

区民車座集会等の実施

7,357千円

- 市民の声がいっしょに伝わる身近な市政の実現のため、市長が直接意見を聞く「区民車座集会」の実施や「市長への手紙」など、市政に対する声を広く収集します。また、市政に対する市民の意識を多面的に調査する「かわさき市民アンケート」を実施します。

コンタクトセンターの運営

122,364千円

- 電話、電子メールなど様々な媒体による、市政に関する問い合わせ、意見、相談等を一元的に受け付け、迅速かつ的確に対応するために、コンタクトセンターを設置し「サンキューコールかわさき」及び代表電話交換を運営します。

魅力ある広報の推進

390,990千円

- 市政だよりやホームページ等の各種広報媒体を活用して、市政情報を効率的・効果的に発信していきます。
- テレビ・ラジオを活用して、川崎のさまざまな話題、イベント情報、行政情報などを発信します。
- 市内にある大型サイネージなどを活用して、イベント案内や行政情報を提供します。



区民車座集会



かわさき市政だより

財 政 局

<予 算 額>

問い合わせ先:庶務課 200-2175 内) 24101

5,955,827千円

(対前年度比:△6.1%)

<主な事業>

資産マネジメントの取組の推進

42,273千円

○将来的な財政負担の縮減や行政ニーズの変化に的確に対応していくため、本市の公共施設等総合管理計画「かわさき資産マネジメントカルテ」に基づき、施設の最適な維持管理や活用、ライフサイクルコスト削減等の取組を推進します。

- ・庁舎等建築物の長寿化工事の優先度判定など予防保全による施設の長寿命化の推進
- ・広域的観点及び施設単体の使用価値・市場価値の観点からの資産保有の最適化の推進
- ・多様な効果創出に向けた財産の有効活用の推進

※本予算は事務経費であり、資産マネジメントに係る具体的な各局の予算については、119ページ以降でご紹介します。

税務事務の運営及び市税収入確保に向けた取組の推進

1,025,549千円

○マイナンバー制度の実施への的確な対応や、個人住民税の特別徴収の完全実施化に向けた取組などを実施し、適正・公平な税務行政を推進します。

○初期未納対策の強化のため、「川崎市納税お知らせセンター」から納期限経過のお知らせを行うとともに、納税者の利便性の向上のためコンビニ納付制度を拡充するなど、より一層の市税収入確保に向けた取組を推進します。

IR(投資家向け広報)の取組

市が公園、道路、学校、文化施設など身近な公共施設の整備のために必要となる資金の一部を借り入れるために、定期的に「川崎市債」を発行しています。この市債は、個人や機関投資家の皆さまにご購入いただけるものとなっています。

市債を安心してご購入いただくためにも、個人投資家向けの「市債投資セミナー」や機関投資家向け説明会の開催、IRニュースの発信、ホームページにおける情報提供などにより、市の取組や財政状況、市債に関する情報を積極的に発信しています。

28年度市債(個人向け)の発行は
5年債・10年債を予定しています。

川崎市ホームページ「投資家情報(IR)」

川崎市 投資家情報

検索

QRコード対応の
携帯電話からも
ご覧いただけます



川崎市投資家情報
(IR)QRコード

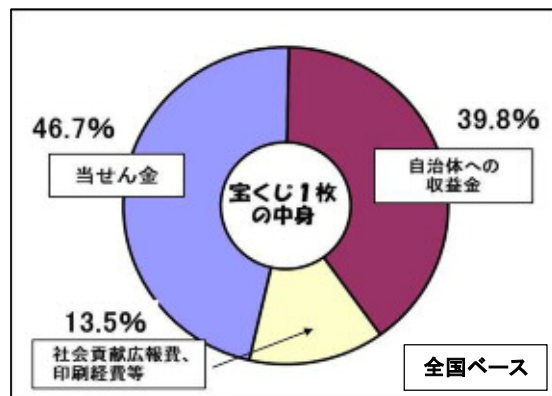
<http://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/47-4-1-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

宝くじ収益金について

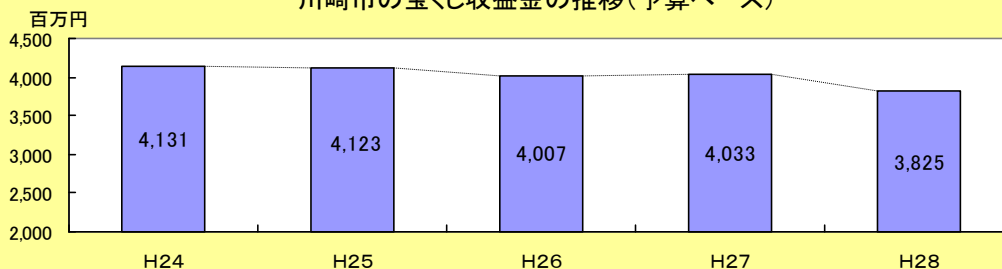
宝くじは、販売実績の40%程度が自治体への収益金となり、発行・発売団体である全国47都道府県、20政令指定都市それぞれの売上げに応じて配分されます。

宝くじ収益金は、公共事業等に充てるものとされ、本市では、妊婦健康診査事業、小児医療費の助成や、公園施設の改修などの身近なまちづくりに役立っています。

宝くじ1枚の中身（26年度決算）



川崎市の宝くじ収益金の推移（予算ベース）



28年度 宝くじ収益金を充当する主な事業



子育て環境・安心いきいき社会 約23億円

- 地域子育ての支援
- 小児医療費の助成
- 要介護者生活支援ヘルパー派遣
- 予防接種事業
- 妊婦の健康診査
- 特定不妊治療費の助成
- （高齢者）日常生活用具の給付事業
- がん検診事業

都市整備・防災対策 約6億円

- 災害時医療救護対策
- 道路の維持補修
- 救急車両、消防車両の購入
- 街路の整備
- 公園施設の改修
- 消防副読本の作成

その他事業 約9億円

- ネット窓口かわさきの運用管理
- 芸術文化の振興
- 資源物の分別収集
- 多摩川を活用したスポーツ大会の開催
- 農林業の振興
- 市立図書館の蔵書の充実

宝くじのお買い求めはぜひ川崎市内で！

市民文化局

<予算額> 問い合わせ先:市民・子ども局庶務課 200-2255 内) 26101

7,709,490千円 (対前年度比: +28.1%)

<主な事業>

ICT(情報通信技術)の活用による市民利便性の向上

公共施設利用予約システムの効果的な運用 368,367千円

○施設利用の利便性と公正性を踏まえた次期公共施設利用予約システム(ふれあいネット)の開発を実施します。(拡充)

防犯対策の推進

安全・安心なまちづくりの推進 651,455千円

- 路上喫煙、客引き行為等の防止に向けた取組を進めます。(拡充)
- 地球環境負荷への軽減として、LED防犯灯の設置促進を図ります。(拡充)
- 地域で発生する空き巣やひったくりなどの犯罪防止に向け、防犯意識の高揚・啓発の取組を推進するとともに、自主防犯活動団体への支援として、防犯カメラの設置補助制度を創設します。(新規)



交通安全対策の推進

交通安全対策の推進 56,223千円

- 広報・啓発活動などを通じ、行政、交通安全関係団体、警察、市民等が連携・協働して、交通事故のない安全で住みやすいまちの実現を目指します。



交通安全教室

市民参加の促進と多様な主体との協働・連携のしくみづくり

市民参加の促進と多様な主体による協働・連携の推進 11,852千円

- 協働・連携ポータルサイトの開設や人材マッチング事業の実施等により、地域の活動を支えるプラットフォームの構築に向けて取り組むとともに、これらの取組を通じて有償ボランティアの検討を進めます。その他、協働・連携の基本方針に基づき、協働・連携の取組を進めます。
- 若者をはじめとした多くの市民による市政への参加の促進に向けた取組を進めます。

市民活動の推進 798,254千円

- 町内会・自治会活動の活性化に向けた取組を支援するとともに、幅広い分野の市民活動に対する支援を行い、市民の相互協力による暮らしやすい地域社会づくりを進めます。
- 総合自治会館の移転に向けた整備を進めます。(拡充)

平等と多様性を尊重した人権・平和施策の推進

人権施策の推進 34,667千円

- 人権を尊重し、共に生きる社会を目指して、平等と多様性(ダイバーシティ)を尊重しながら人権施策を総合的に推進します。

男女共同参画社会の形成に向けた施策の推進

男女平等施策の推進

9, 821千円

○男女があらゆる場において、男女平等に関わる人権侵害を受けることなく、自立して共に働き、学び、暮らすことができる男女共同参画社会の形成に向け、女性の活躍やワーク・ライフ・バランスの推進等の取組を進めます。

音楽や映像のまちづくりの推進

音楽のまちづくりの推進

84, 900千円

○多様な活動団体等と協働・連携しながら、幅広い世代が身近に音楽を楽しめる環境づくりを進めることで、まちに音楽があふれ、豊かな心を育む、「音楽のまちづくり」を推進します。



「かわさきジャズ」フリーライブ

映像のまち・かわさきの推進

34, 186千円

○「映像のまち・かわさき」推進フォーラムを中心として、市内の豊富な映像資源による活動を促進するとともに、市民が映像に親しむ機会の創出とまちの魅力を発信することで、本市の魅力を高め、映像文化の振興を図ります。



「こどもニュース」制作体験ワークショップ

スポーツのまちづくりの推進

競技スポーツ大会等の開催

63, 019千円

○国内唯一の国際陸上競技大会「ゴールデングランプリ川崎」や国内外のトップアスリートが出場する「国際トランポリンジャパンオープン」を開催します。また、多摩川を活用したスポーツ大会等の開催や競技スポーツ活動の支援を通じて、市民がスポーツを「する」「観る」「支える」取組を進めます。



ゴールデングランプリ川崎

ホームタウンスポーツの推進

39, 642千円

○本市をホームタウンとして活躍するトップチームやトップアスリートである「かわさきスポーツパートナー」等と連携し、スポーツを通じて本市の魅力を高めるまちづくりを進めます。

東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組の推進

50, 000千円

○かわさきパラムーブメント推進フォーラムの運営や、パラリンピック競技の体験事業をはじめとする「かわさきパラムーブメント」の推進を通じて、東京2020大会を契機とする誰もがくらしやすいまちづくりを進めます。また、事前キャンプ受け入れの準備など大会運営支援の取組を進めます。(拡充)



パラリンピック出場選手との交流

経済労働局

<予算額>

問い合わせ先:庶務課 200-2320 内)28101

32,073,357千円 (対前年度比: +1.4%)

<主な事業>

防犯対策の推進

消費生活の安全の推進

92,140千円

○様々な消費者トラブルの発生や多様化・複雑化する消費生活相談の増加等に対応するため、土曜日の電話相談受付の試行的な開設や、研修機会の確保、関係機関等との連携により、相談体制の充実を図ります。(拡充)



てるみ〜にゃ

農地の保全・活用と「農」とのふれあいの推進

「農」とのふれあいの推進

21,337千円

○専門家や市民と共同で地域交流農園の運営手法を検討するワークショップを実施し、新たな地域交流農園の整備を行います。(拡充)

アジアを中心とした海外での事業展開支援の強化

経済の国際化への対応の推進

54,606千円

○中国等における展示会への出展等、ビジネスマッチングの実施や「川崎市海外ビジネス支援センター」により企業の海外展開を支援します。

環境産業のグローバル化の促進(グリーンイノベーションの推進)

41,883千円

○川崎国際環境技術展や「かわさきグリーンイノベーションクラスター」を通じて、環境技術の発信や環境分野における新規ビジネスの創出支援等を行います。

魅力と活力のある商業地域の形成

地域特性に応じた活力ある商業の振興

329,584千円

○開催20回を迎えるカワサキハロウィン等、川崎駅周辺におけるイベント事業等に対し、重点的に支援を行います。

中小企業の競争力強化と活力ある産業集積の形成

知的財産戦略の推進

10,955千円

○大企業・研究機関等と中小企業の知的財産マッチング支援を行うコーディネーターの増員に加え、知的財産関連分野の人材育成等の支援を実施します。(拡充)

ものづくり技術の高度化及び販路拡大・開拓の推進

26,173千円

○中小企業の新技術・新製品開発や経営の安定化、展示会への出展に対する支援等を実施します。(拡充)

中小企業の経営安定の支援

24,664,519千円

○各種資金を低利で融資する中小企業融資制度や信用保証料の補助等により、市内中小企業の資金繰りの円滑化を図ります。また、創業支援資金について新たに信用保証料の補助を実施することで、創業の推進を図ります。(拡充)

都市農業の強みを活かした農業経営の強化

健全な農業経営の推進

190,953千円

- 意欲ある認定農業者等に対して、新技術の導入や6次産業化等に必要な施設整備等への支援を実施します。(新規)
- 企業や大学等の多様な主体との連携を図り、都市農業を活性化するモデル事業を実施し、市内産農産物の付加価値の向上や農業振興地域の活性化等を図ります。(新規)

ベンチャー支援、起業・創業の促進

ベンチャー支援・新産業支援の促進

51,605千円

- 民間創業支援機関等との連携のもと、「起業家オーディション」等の体系的な起業・創業支援に取り組むとともに、投資家等の専門家によるベンチャー企業等への個別・集中支援を行います。(拡充)



起業家オーディション

地域を支える産業の育成・市内事業者等の新分野への進出支援

福祉産業の振興（ウェルフェアイノベーションの推進）

48,077千円

- 専門コーディネーターを配置し、フォーラム参加者間のマッチングによる福祉分野の製品開発・サービス創出の支援を実施します。

コミュニティビジネスの振興

5,950千円

- セミナー等の実施に加え、専門家相談等、起業支援の充実を図ります。(拡充)

科学技術を活かした研究開発基盤の強化

先端科学技術の振興

4,044,074千円

- 新川崎・創造のもり地区において、新たな「産学交流・研究開発施設」の整備を実施します。

産業活動・交流の促進

368,948千円

- 交流拠点の形成を図るため、小杉町2丁目地区のコンベンション施設の整備を実施します。



小杉町2丁目地区
コンベンション施設
(完成予想図)

人材を活かすしくみづくり

産業人材の育成と活用及び就業の支援

78,798千円

- 「キャリアサポートかわさき」による総合的な就業支援、「コネクションズかわさき（かわさき若者サポートステーション）」による職業的自立支援を実施します。
- 大学と連携した加工技術体験の実施による若手技術の人材育成支援を実施します。(拡充)

川崎の特性を活かした観光の振興

観光・集客型産業の育成及び観光資源の創出・育成

144,028千円

- 観光協会や民間事業者等と連携し、国内外へのプロモーション活動等を行い、市内観光の振興を図ります。また、他自治体との連携を図り、地域間での回遊を促します。

環境局

<予算額>

問い合わせ先:庶務課 200-2375 内) 29101

19,143,679千円 (対前年度比:△16.3%)

<主な事業>

地球環境の保全に向けた取組の推進

地球温暖化対策の推進

78,843千円

- 「地球温暖化対策推進計画」に基づく取組等を着実に推進します。
 - ・CC川崎エコ会議など市民、事業者とのネットワークを活かした協働の取組
 - ・低CO₂川崎ブランド、川崎メカニズム認証制度の実施による低炭素技術の普及
 - ・事業活動地球温暖化対策計画書・報告書制度の実施などによる事業者の環境配慮の促進
 - ・国内外の動向を踏まえた「地球温暖化対策推進計画」の改定に向けた検討
 - ・国や近隣自治体と連携した次世代自動車（燃料電池自動車、電気自動車等）の普及
 - ・市民生活におけるエコドライブ普及の取組



川崎マリエン移動式水素ステーション



燃料電池自動車（市公用車）

環境エネルギー施策の推進

114,404千円

- 創エネ・省エネ・蓄エネの総合的な取組など、「川崎市エネルギー取組方針」に基づく取組を推進します。
 - ・家庭部門における地球温暖化対策をさらに推進するため、エネルギー管理装置と併せ、太陽光発電、家庭用燃料電池など、複数機器の導入支援を実施
 - ・再生可能エネルギー等導入推進基金（グリーンニューディール基金）の活用による防災拠点等への自立分散型エネルギーの導入

グリーンイノベーションの推進

20,063千円

- 「川崎市グリーン・イノベーション推進方針」に基づく取組を着実に推進します。
 - ・環境技術を活かしたグリーンイノベーションの取組
 - ・展示会への出展などによるグリーンイノベーションの取組の発信

スマートシティの推進

13,007千円

- 「川崎市スマートシティ推進方針」に基づく取組を推進します。
 - ・エネルギーの最適利用とICT・データの利活用によるスマートシティの実現に向けた取組

地域環境対策の推進

公害防止対策事業の推進

169,065千円

○大気環境改善に係る取組を推進します。

- ・低公害車の普及や局所汚染対策などによる自動車排出ガス対策
- ・工場及び事業場の監視、指導などによる排出量削減対策
- ・事業者による自主的なVOC（揮発性有機化合物）削減対策

持続可能な循環型のまちをめざした取組の推進

減量リサイクルの推進

243,452千円

○ごみの減量化・資源化に向けた取組を推進します。

- ・普及啓発・環境学習の継続実施
- ・資源集団回収事業の実施
- ・生ごみの減量化・リサイクルの取組
- ・拠点回収事業の実施
- ・地域環境美化の推進



かわさき3R推進キャラクターかわるん

資源物・ごみ収集事業の推進

3,313,793千円

○ごみの減量化・資源化に向けて、効果的・効率的な収集運搬体制の構築を図ります。

- ・空き瓶、ミックスペーパー、プラスチック製容器包装、空き缶・ペットボトル（川崎区、幸区）等、収集運搬業務委託を引き続き実施
- ・空き缶・ペットボトル収集運搬業務の委託化を中原区、高津区、宮前区で開始

資源物・ごみ処理事業の推進

3,549,966千円

○ごみの適正かつ安定的な焼却処理を引き続き実施します。

○空き缶、ペットボトル、ミックスペーパー、プラスチック製容器包装など資源物の資源化処理委託を引き続き実施します。

○28年4月から、北部地域の資源物処理の拠点となる、王禅寺処理センター資源化処理施設を稼働します。（新規）

○放射性物質が検出されたごみ焼却灰の安全な処分等を継続するとともに、保管中のごみ焼却灰の処分に向けた実証実験を行います。

廃棄物処理施設等の整備

1,488,431千円

○廃棄物処理施設等を安定的に稼働させるための予防保全的な補修・整備を実施し、長寿命化を図ります。

- ・浮島2期廃棄物埋立処分場の基幹的整備の継続
- ・南部リサイクルセンターの基幹的整備の実施

○3処理センター体制の安定的な運営に向け、廃棄物処理施設等の建替計画を推進します。

- ・王禅寺処理センター資源化処理施設外構工事等の実施
- ・橘処理センターの建替えに向けた解体撤去工事の着手

健康福祉局

<予算額>

問い合わせ先:庶務課 200-2615 内) 32101

139,758,978千円 (対前年度比: +1.5%)

<主な事業>

総合的なケアの推進

地域包括ケアシステムの推進

34,080千円

○「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」に基づき、川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進します。また、ポータルサイトの活用により、医療・介護従事者等の情報を共有化し、各主体の自主的な取組を促進するとともに、多職種連携を推進します。

○区役所の組織を再編し、個別支援の強化と地域力の向上を図ります。(新規)

認知症高齢者対策事業の推進

(介護保険事業特別会計含む) 39,008千円

○認知症の人の意思が尊重され、住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指すため、適切なサービス提供の流れを示した「認知症ケアパス」の作成や、「認知症初期集中支援推進事業」のモデル実施等の取組を進めます。(新規)

自立生活に向けた取組の推進

生活保護自立支援対策事業の推進

248,348千円

○生活保護受給世帯の子どもに対する学習支援の対象を中学3年生に加え、中学1・2年生まで拡大します。(拡充)

○就職活動を直ちに行うことが困難な生活保護受給者に対して、日常生活訓練などを行い、就労支援につなげるための、就労準備支援事業を実施します。(新規)

生活保護業務

60,797,879千円

○生活に困窮する市民に対して、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障することを目的に生活保護費を支給します。

○簡易宿所に居住する生活保護受給者に対し、賃貸住宅への転居・定着支援を行います。(新規)

生活困窮者自立支援事業の推進

181,809千円

○就職活動を直ちに行うことが困難な生活困窮者に対して、日常生活訓練などを行い、就労支援につなげるための、就労準備支援事業を実施します。(新規)

高齢者福祉サービスの充実

高齢者の多様な居住環境の整備

3,207,457千円

○介護の必要性が高い要介護高齢者の将来的な増加を踏まえ、特別養護老人ホーム等の介護サービス基盤の整備を進めます。

○要介護高齢者の在宅生活を支えるケアの中核となる「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」や「(看護)小規模多機能型居宅介護」等の、地域に密着した介護サービスの整備を進めます。

かわさき健幸福寿プロジェクト

18,419千円

○要介護度等の維持・改善の成果を上げた介護サービス事業所にインセンティブを付与する「かわさき健幸福寿プロジェクト」を実施します。

高齢者が生きがいを持てる地域づくり

いこいの家・いきいきセンターの運営

853,356千円

- 高齢者の心身の健康増進を図るため、いこいの家やいきいきセンターを管理・運営します。
- 高齢者の生きがい・健康づくりの場や、青少年健全育成の場ともなる多世代交流の場の確保を進めます。

障害福祉サービスの充実

施設障害福祉サービスの充実

12,149,737千円

- 28年4月に中部リハビリテーションセンター（中原区）を開設し、あらゆる障害への対応に必要な総合的かつ専門的支援を提供します。（新規）

障害者の自立支援と社会参加の促進

障害者の社会参加の促進

146,041千円

- 市障害者スポーツ協会の運営を支援し、東京オリンピック・パラリンピックを見据えた障害者スポーツのさらなる普及・発展に取り組みます。（拡充）

障害者の就労支援の促進

217,113千円

- 地域就労援助センター（3か所）の職員を増員し、障害者の就労移行支援体制を強化します。（拡充）

健康で快適な生活と環境の確保

予防接種の実施

3,734,979千円

- 各種定期予防接種を実施し、感染症の予防及びまん延の防止を図るとともに、保健福祉センターで受けることとしていたBCGの接種について、市民の利便性の向上を図るため、お近くの各医療機関で受けられるようにします。（拡充）

動物愛護事業の推進

111,584千円

- 「ひと・どうぶつMIRAIプロジェクト」の推進等、動物愛護施策に取り組みとともに、新たに「動物愛護基金」を設置します。（拡充）



医療供給体制の充実・強化

救急医療体制の確保

1,276,397千円

- 休日・夜間における初期救急医療体制の推進、周産期医療を含めた救急搬送患者の円滑な受入体制の確保等を図ります。

生き生きと暮らすための健康づくり

がん検診等の勧奨と実施

2,397,856千円

- 政令市トップレベルのがん検診受診率を達成するため、コールセンターや成人検診業務管理電算システムを活用し、個別の受診勧奨を実施します。（拡充）
- 子宮がん検診及び乳がん検診について、一定の年齢の市民に対してクーポン券を発行し、自己負担分を無料化することで受診率の向上を図ります。

こども未来局

<予算額> 問い合わせ先:こども本部こども企画課 200-3733 内)43101

95,396,398千円 (対前年度比: +4.4%)

<主な事業>

子育てを社会全体で支える取組の推進

小児医療費の助成 4,077,030千円

○子どもの健全な育成や子育て家庭における経済的負担の軽減を図るため、入通院に係る医療費の自己負担分を助成します。また、通院助成の対象を28年4月から小学校3年生まで拡大するとともに、29年4月の小学校6年生までの拡大に向けた取組を推進します。(拡充)

質の高い保育・幼児教育の推進

認可保育所等の整備 2,679,389千円

○引き続き待機児童の解消に向けて、民間活力を活用しながら、認可保育所や小規模保育事業の新設等を行うことにより1,390人の受入枠の拡大に向けて整備を行います。

- ・認可保育所25か所1,295人分(うち横浜市との共同整備1か所30人分)
- ・小規模保育事業5か所95人分

○「新たな公立保育所」として地域の子育て支援等の機能強化を図るため、老朽化の進んだ公立保育所の再整備を効率的に進めます。

- ・基本・実施設計2か所(大島・大島乳児保育園、夢見ヶ崎保育園)

認可保育所等の運営 36,028,980千円

○公民の連携による安定的な保育所の運営と一時保育施設の増設など、多様な保育サービスの提供の充実を図ります。(拡充)

- ・認可保育所 271か所 → 294か所(23か所増)
- ・定員 22,340人 → 23,945人(1,605人増)
- ・一時保育 59か所 → 64か所(5か所増)

○地域型保育事業(家庭的、小規模、事業所内保育事業等)に係る給付を行います。(拡充)

- ・57か所474人 → 56か所615人(141人増)



保育園の様子

認可外保育施設への支援 3,775,008千円

○川崎認定保育園利用者への助成を行い、保育を必要とする児童の保護者負担を軽減します。

- ・助成対象者 4,171人

○横浜市との協定に基づき、川崎市の児童が横浜保育室を利用する場合に、施設に対し運営費を助成するとともに、保護者に対し保育料補助を行います。

○多様な保育ニーズに対応するため、川崎市医師会と連携し、未整備区域へ病児保育施設の整備を進めます。(拡充)

- ・5か所(27年度) → 6か所(28年度) → 7か所(29年度)

○認可保育所又は小規模保育事業を目指す認可外保育施設に対して、改修等に要する費用の一部を補助します。

幼児教育の推進

3,607,188千円

- 施設型給付（私立幼稚園、認定こども園）に係る給付を実施します。
- 私学助成を受ける私立幼稚園に就園する園児の保育料等の補助を行い、幼児教育の振興を図ります。
- 幼稚園の認定こども園への移行を推進するため、預かり保育の促進を図り、保育時間の拡大や長期休業日の実施に対する支援を行います。（拡充）



幼稚園の様子

保育士確保対策

251,798千円

- 保育士の就業継続及び離職防止を目的として、法人が保育士の宿舍を借り上げるための費用の一部を補助します。（新規）
 - ・一戸あたり月額82,000円の3/4（61,500円）上限 300人分
- 保育士資格を持たない保育従事者を対象に、保育士養成施設・通信教育等の受講料の補助や、保育士試験直前対策講座を実施します。（拡充）
- 潜在保育士や保育士養成施設の学生を対象に、就職相談会や保育所体験バスツアー、就職支援セミナーの実施などにより、就職支援を行います。（拡充）

子どものすこやかな成長の促進

母子保健指導・相談の取組

152,022千円

- 各区に母子保健コーディネーターを配置して、母子健康手帳の交付・相談の充実を図ります。（拡充）

子どもが安心して暮らせる支援体制づくり

ひとり親家庭の生活支援

4,102,089千円

- ひとり親家庭の親を対象に、就職に有利な資格の取得を支援します。（拡充）
 - ・高等職業訓練促進給付金 支給期間の延長 2年→3年
 - ・自立支援教育訓練給付金 受講費用の2割（上限10万円）→6割（上限20万円）
- ひとり親家庭の親及び子どもを対象として、高等学校卒業程度認定試験合格のための講座受講時に、その費用の一部を支給します。（新規）
 - ・受講修了時給付金 受講費用の2割（上限10万円）
 - ・合格時給付金 受講費用の4割（受講修了時給付金を含めて上限15万円）
- メールマガジンの配信など、ひとり親家庭への支援施策の周知の取組を推進します。（拡充）

女性保護事業の推進

48,572千円

- 配偶者暴力被害に関わる総合相談窓口を設置します。（新規）

子ども・若者支援の推進

76,486千円

- 新たに2か所の児童家庭支援センターを児童養護施設内に設置します。乳児院併設においては、育児不安等がある乳幼児期の保護者を中心とした育児支援プログラムの充実を図り、児童養護施設併設においては、課題のある学齢児への支援の充実を図ります。（拡充）
 - ・児童家庭支援センター 4か所 → 6か所

まちづくり局

<予算額> 問い合わせ先:庶務課 200-2939 内)35101

27,516,708千円 (対前年度比: +5.9%)

<主な事業>

魅力にあふれた広域拠点の形成

川崎駅周辺地区の整備 3,674,310千円

○川崎駅周辺総合整備計画に基づき、これまでの取組成果を活かしながら、安全安心で魅力ある広域拠点の形成を推進します。

- ・JR川崎駅北口自由通路等整備工事(29年度供用開始予定)
- ・ミュージア川崎とラゾーナ川崎東芝ビルを接続する堀川町C地区連絡ペDESTリアンデッキ整備工事(29年度完成予定)
- ・京急川崎駅周辺地区まちづくり整備方針に基づく民間誘導
- ・川崎駅東口地区における民間開発の誘導(新規)

小杉駅周辺地区の整備 1,561,422千円

○民間活力を活かした市街地再開発事業等により、駅周辺に公共・公益施設等をコンパクトに集約し、魅力ある広域拠点の形成を推進します。

- ・小杉町3丁目東地区市街地再開発事業(31年度完成予定)

新百合ヶ丘駅周辺地区の整備 86,000千円

○民間開発の適切な誘導や交通環境改善を図り、より質の高い、魅力ある広域拠点の形成を推進します。

- ・南口駅前広場等の交通混雑緩和に向けた取組の推進



JR川崎駅北口自由通路



小杉町3丁目東地区

個性を活かした地域生活拠点等の整備

登戸土地区画整理事業の推進 4,427,501千円

○登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区については、交通結節機能、自然環境、文化施設等の機能を活かし、魅力と活力にあふれた市北部の拠点地区の形成を土地区画整理事業により推進します。

身近な交通環境の整備

身近な地域交通環境の整備 28,552千円

○川崎市総合都市交通計画に基づき、身近な地域で安全・快適に生活できるよう、地域交通環境の整備を推進します。

- ・路線バス社会実験の実施
- ・コミュニティ交通の持続的な運行のための支援及び導入に向けた支援

地域の主体的な防災まちづくりの推進

密集市街地の改善に向けた取組

15,700千円

○老朽木造住宅等が密集した市街地の防災性の改善に取り組み、地震発生時等の火災による延焼被害の低減を推進します。

- ・新たな条例制定及び対象区域の見直し等の調査・検討

防災まちづくり支援の推進

5,477千円

○災害時に大きな延焼被害等が想定される地区の地域防災力の向上を目的に、地域住民と協働で策定した地区防災まちづくり計画に基づく防災に強いまちづくりを支援します。

まち全体の総合的な耐震化の推進

民間建築物等の耐震化の推進

558,045千円

○木造住宅や民間マンション、特定建築物について、耐震診断・改修工事等の助成を行うとともに、擁壁の築造等に対する宅地防災工事等への助成などの取組により、災害に強いまちづくりを推進します。

- ・木造住宅の部分改修工事、耐震シェルター・防災ベッド設置への助成（拡充）
- ・耐震診断を義務化した特定建築物（通行障害建築物）の耐震改修工事等への助成



木造住宅の耐震改修工事

ユニバーサルデザインのまちづくりの推進

ユニバーサルデザインのまちづくりの推進

4,600千円

○バリアフリー基本構想の改定や、ユニバーサルデザインタクシーの普及促進を行います。

鉄道の橋上駅舎化等の推進

437,330千円

○JR南武線武蔵溝ノ口駅以北の片側改札口の5駅について、高齢者や障害者など誰もが利用しやすい交通環境の整備を推進します。

- ・稲田堤駅及び津田山駅の橋上駅舎化に関する取組

誰もが暮らしやすい住宅・居住環境の整備

住宅施策の推進

10,840,402千円

○市営住宅等の提供や、既存の民間賃貸住宅を活用した入居支援等を進めるとともに、住宅基本計画を見直すことにより、こどもから高齢者まで誰もが安心して暮らせる住宅施策を推進します。

- ・空き家対策などの社会経済状況の変化に対応した住宅施策の推進
- ・市営住宅の建替（大島住宅ほか7団地）

安全で安心して快適に暮らせる計画的なまちづくりの推進

庁舎等建築物の長寿命化対策

333,181千円

○大規模5施設（港湾振興会館、高津区役所、多摩区総合庁舎、とどろきアリーナ、第3庁舎）について、予防保全型の維持補修を行います。

※表内の図は完成予定のイメージです。

建設緑政局

<予算額>

問い合わせ先:庶務課 200-2785 内) 38201

33,785,383千円 (対前年度比: +26.9%)

<主な事業>

まち全体の総合的な耐震化の推進

橋りょう耐震化の推進 335,000千円

○安全性を確保し、地震災害に強い都市基盤を整備するため、鹿島田跨線橋など優先度の高い橋りょうの耐震対策を実施します。

安全・安心な暮らしを守る河川整備

五反田川放水路の整備 1,985,200千円

○五反田川の洪水全量を地下トンネルで直接多摩川に放流するため、放水路の整備を引き続き推進し、樋門築造工事及び分流部施設整備工事を実施します。

河川改修事業の推進 75,144千円

○水害から市民の生命・財産を守るため、一級河川平瀬川支川及び準用河川三沢川の未改修箇所について、時間雨量50mmの降雨に対応した改修を進め、治水安全度の向上を図ります。

交通安全対策の推進

安全施設整備の推進 424,049千円

○歩行者の安全確保や道路交通の円滑化を図るため、歩道の設置や横断防止柵の補修等を実施します。また、交通事故抑止を目的とした、舗装のカラー化や見通しの悪い交差点の形状変更等の改良を実施します。

放置自転車対策の推進 1,187,225千円

○自転車等の放置を防止し、歩行者の通行の安全や災害時における緊急活動の場の確保を図るため、駐輪場を整備し、駐輪場の利用促進や放置自転車の撤去等を実施します。また、川崎駅東口周辺地区における総合自転車対策を推進します。(拡充)

協働の取組による緑の創出と育成

都市緑化の推進や公園緑地の管理運営の推進 534,061千円

○緑豊かなまちづくりを目指し、100万本植樹や屋上・壁面緑化等、地域の緑化を推進します。
○指定管理者による大規模な公園緑地の管理運営を実施するとともに、身近な公園緑地の管理運営を推進します。

魅力ある公園緑地等の整備

公園緑地等の整備 2,315,228千円

○富士見公園や生田緑地などの大規模公園やその他の公園緑地について、その立地特性を踏まえ、整備に向けた取組等を推進します。

- ・生田緑地西口広場の整備
- ・小田公園の再整備 など

等々力緑地の再編整備

- 「等々力緑地再編整備実施計画」に基づき、等々力緑地の再編整備を推進し、緑地内の施設の充実を図ります。(拡充)
 - ・硬式野球場整備工事の実施
 - ・正面広場等整備工事の実施

1, 953, 149千円



等々力硬式野球場

多摩川の魅力を活かす総合的な取組の推進

多摩川緑地の魅力向上や協働による多摩川の魅力発信

- 「川崎市新多摩川プラン」に基づき、多摩川緑地の整備及び維持管理を行います。
 - ・サイクリングコースの延伸整備に向けた検討 など
- 市民との協働や流域自治体との連携により、環境学習や体験活動の取組を推進し、様々な機会を通して多摩川の魅力を発信します。

350, 428千円



多摩川での環境学習の様子

臨海部の戦略的な産業集積と基盤整備

羽田連絡道路の整備推進

- 羽田連絡道路の早期整備に向け、必要な調査設計などを実施します。

243, 978千円

個性を活かした地域生活拠点等の整備

溝口駅周辺地区まちづくりの推進

- 交通結節点機能の強化や駅利用者の利便性向上を図り、周辺環境に調和した機能的でコンパクトな溝口駅南口駅前広場の整備を実施します。
(28年度完成予定)

472, 752千円



溝口駅南口駅前広場

広域的な交通網の整備

広域幹線道路網の整備推進

- 市内の都市機能強化に向け、広域幹線道路網の整備に向けた取組を実施します。
 - ・川崎縦貫道路関連調査等の実施

548, 984千円

市域の交通網の整備

道路改良事業の推進

- 国道409号や都市計画道路世田谷町田線をはじめとする幹線道路網の構築や地域特性を踏まえた道路拡幅、歩道整備などによる道路交通環境の改善を推進します。
- 早期に効果発現が期待できる、交差点改良などの渋滞対策を推進します。(拡充)

8, 232, 037千円

橋りょう整備事業の推進

- 交通の円滑化、利便性の向上や防災機能の強化を図るため、(仮称)等々力大橋や末吉橋等の整備を推進します。

200, 915千円

連続立体交差事業の推進

- 複数の踏切を除却する連続立体交差化により、道路交通の円滑化、環境の改善及び地域分断の解消等を図ります。
 - ・京浜急行大師線1期区間(小島新田～東門前)の連続立体交差化に向けた整備
 - ・JR南武線(尻手駅～武蔵小杉駅間)の連続立体交差化に向けた調査・検討など

6, 621, 079千円

※表内の図は完成予定のイメージです。